

## 調査結果の概要（抜粋）

教育委員会

調査時期 平成27年12月実施

調査対象者、回答数(回収率) ①中学2年生 2,272人(96.8%)  
 ②上記の保護者 2,167人(92.4%) } 計4,439人(94.6%)

調査の方法

県内全ての国公立中学校において中学2年生のうち1クラスを抽出

(参考:生徒の回答者数は、県内全中学2年生数7,689人の29.5%に該当)

※ [ ]内の値は、調査対象者全体に占める割合

### ○工業系への進学・就職希望 <問1> (全員を対象)



工業系の分野への「進学や就職を考えている」、又は「興味はある」と回答  
 生徒 28.4% (646人)、保護者 38.2% (827人)

### ○工業系高校への進学希望 <問2> (問1で上記の回答をした者を対象)



工業系高校へ「進学を選択肢の一つとして考えている」と回答  
 生徒 38.7% (250人)、保護者 55.4% (458人)  
 [11.0%] [21.1%]

### ○専攻科への進学希望の有無・程度 <問3> (問2で上記の回答をした者を対象)



「有力な進学先として考えたい」 生徒 18.8% (47人)、保護者 14.2% (65人)  
 [2.1%] [3.0%]  
 「選択肢の一つとして考えたい」 生徒 51.2% (128人)、保護者 75.3% (345人)  
 [5.6%] [15.9%]  
 「選択肢の一つとしては考えない」 生徒 11.6% (29人)、保護者 4.1% (19人)  
 [1.3%] [0.9%]

### ○専攻科への関心がある理由 <問4> (問3で有力な進学先又は選択肢の一つと回答した者を対象)

※複数回答



「高度な専門的知識・技術」 生徒 73.7%、保護者 84.1%  
 「高い就職率」 生徒 67.4%、保護者 63.2%

### ○専攻科を進学の選択肢としない理由 <問5> (上位3位まで)

※複数回答

(問3で選択しないと回答した者を対象)



「就職したい(させたい)」 生徒 58.6%、保護者 52.6%  
 「大学に進学したい(させたい)」 生徒 31.0%、保護者 26.3%  
 「短大、専門学校等に進学したい(させたい)」 生徒 31.0%、保護者 21.1%

### ○専攻科を進学の選択肢とするために備えるべき条件 <問6> (上位3位まで)

(問3でわからないと回答した者を対象)

※複数回答



「高卒では得られない資格・技術等」 生徒 65.9% 保護者 67.9%  
 「給与や待遇等の条件が改善」 生徒 45.5%、保護者 35.7%  
 「県内企業への就職が有利」 生徒 40.9%、保護者 42.9%

## 専攻科アンケート（工業系高校2年生とその保護者対象）

## 調査結果の概要（抜粋）

教育委員会

調査時期 平成27年12月実施

調査対象者、回答数(回収率) ①高校2年生 529人(98.3%)  
 ②上記の保護者 527人(98.0%) } 計1,056人(98.1%)

調査の方法

工業系高校（工業系列を有する総合学科を含む）の機械、電子、電気に関する学科又は系列に在籍する生徒全員

## ○工業系への進学・就職希望 &lt;問1&gt;（全員を対象）



工業系の分野への「進学や就職を考えている」、又は「興味はある」と回答  
 生徒 84.5% (447人)、保護者 81.9% (432人)

## ○工業系で就きたい職種 &lt;問2(2)&gt;（問1で上記の回答をした者を対象）※複数回答



最も多かった回答は「製造の現場でのモノづくり、機械整備等」  
 生徒 71.6% (320人)、保護者 64.6% (279人)  
 「製造現場での工程設計」を選択した者は  
 生徒 17.0% (76人)、保護者 19.9% (86人)

## ○高校卒業後の進路 &lt;問4&gt;（上位3位まで）（全員を対象）



「就職」 生徒 62.8% (332人)、保護者 57.1% (301人)  
 「専修学校・各種学校等に進学」 生徒 15.5% (82人)、保護者 12.3% (65人)  
 「4年制大学に進学」 生徒 9.1% (48人)、保護者 10.1% (53人)

## ○専攻科の認知度 &lt;問5&gt;（全員を対象）



「よく知っていた」又は「まあまあ知っていた」と回答  
 生徒 25.2%、保護者 44.6%  
 「まったく知らなかった」又は「あまり知らなかった」と回答  
 生徒 74.5%、保護者 55.0%

## ○専攻科への進学希望 &lt;問6&gt;（全員を対象）

（県内に工業系の専攻科があると仮定）



「第一希望」 生徒 7.4% (39人)、保護者 11.8% (62人)  
 「選択肢の一つ」 生徒 46.9% (248人)、保護者 62.8% (331人)  
 「選択肢としては考えない」 生徒 28.0% (148人)、保護者 14.0% (74人)

## ○専攻科を選ぶ理由、選ばない理由 &lt;問7(1)、問8&gt;（上位3位まで）※複数回答

&lt;問7(1)&gt;（問6で「第一希望として進学」「選択肢の一つとして考えたい」回答者を対象）



・高度な専門的知識・技術を身に付けることができる（生徒 78.4%、保護者 83.0%）  
 ・就職率が高い（生徒 47.7%、保護者 44.0%）  
 ・高卒よりも企業での待遇が良い（生徒 30.0%、保護者 27.5%）

&lt;問8&gt;（問6で「選択肢としては考えない」「わからない」回答者を対象）



・進学は考えておらず、就職したい（させたい）（生徒 64.9%、保護者 70.5%）  
 ・専攻科で身に付く知識・技術のレベルが不明確（生徒 28.0%、保護者 18.9%）  
 ・短大や専門学校に進学したい（させたい）（生徒 23.4%、保護者 12.9%）

|     |       |
|-----|-------|
| 学校名 | 学校コード |
|     |       |

## 工業系高等学校専攻科に関するアンケート調査

山梨県では、機械・電子を中心とした産業の発展に向けて、産業界が必要とする人材の育成をさらに進めるため、工業系高等学校に新たな課程を作ることや、企業との連携を強めるなど考えられる方法について検討しております。このアンケートは、今後の施策の参考とするために行うものです。それ以外の目的に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケートへの回答にご協力くださいますようお願いいたします。なお、専攻科の内容については、別紙をご覧ください。

山梨県教育委員会（教育庁 新しい学校づくり推進室）

回答は設問ごとに当てはまる番号を選んで、各設問の右端にある□欄に記入してください。また、選択した内容に( )がある場合は、( )内への記入もお願いします。

○ 回答者

- 1 生徒      2 保護者

○ 性別（回答者が保護者の場合は、お子さんの性別）

- 1 男      2 女

問1 （全ての方にお尋ねします。）

将来、工業系の分野に進学や就職をしたい（させたい）と考えていますか？

- 1 進学や就職を考えている      (→ 問2へ)  
2 興味はある      (→ 問2へ)  
3 興味はない      (→ これで質問は終わりです。)  
4 わからない      (→ これで質問は終わりです。)

問2 （問1で「1 進学や就職を考えている」または「2 興味はある」と回答した方にお尋ねします。）

工業系の高等学校に進学を考えていますか？

- 1 進学を選択肢の一つとして考えている      (→ 問3へ)  
2 進学は考えていない      (→ これで質問は終わりです。)  
3 まだ決めていない（わからない）      (→ これで質問は終わりです。)

問3 （問2で「1 進学を選択肢の一つとして考えている」と回答した方にお尋ねします。）

（別紙を読んで）工業系の高等学校卒業後の選択肢として、専攻科に対する考え方を教えてください。

- 1 有力な進学先として考えたい      (→ 問4へ)  
2 選択肢の一つとして考えたい      (→ 問4へ)  
3 選択肢としては考えない      (→ 問5へ)  
4 わからない      (→ 問6へ)

問4 （問3で「1 有力な進学先として考えたい」または「2 選択肢の一つとして考えたい」と回答した方にお尋ねします。）

選択した理由は何ですか？（次の中から2つ以内で選んでください。）

- 1 高度な専門的知識、技術を身に付けることができる  
2 就職率が高い  
3 高卒よりも企業での待遇が良い  
4 他の進学方法に比べて学費が安く、経済的負担が少ない  
5 大学への編入学の途が開かれている  
6 その他 ( )

裏面にもあります。

問5 (問3で「3 選択肢としては考えない」と回答した方にお尋ねします。)

選択肢として考えない理由は何ですか？(次の中から2つ以内で選んでください。)

- 1 高校卒業後(中学卒業後)に進学は考えておらず、就職したい(させたい)
- 2 大学に進学したい(させたい)
- 3 短大、専門学校等に進学したい(させたい)
- 4 その他( )

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

問6 (問3で「4 わからない」と回答した方にお尋ねします。)

どのような条件を整えば、工業系高等学校卒業後の進路で、専攻科を有力な進学先として、または選択肢の一つとして考えることができますか？(次の中から2つ以内で選んでください。)

- 1 県内企業への就職が有利になる
- 2 就職する際の給与や待遇等の条件が良くなる
- 3 高卒では得られない資格・技術等が確実に身に付く
- 4 専攻科の具体的な教育内容、実績等が明らかになる
- 5 その他( )

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

ご協力ありがとうございました。

# 工業高校の専攻科(全日制)についてご説明します

(中)

高校の専攻科について、以下のようにQ&A方式により説明します。

## Q1. 高校の専攻科とは、どんなところですか？

- A1. 高校を卒業後、専門分野を更に深め、資格取得や高度な知識・技能を身につけるため、さらに2年間学ぶための学科です。本県の高校には全日制の専攻科は現在のところありません。以下でご紹介するのは工業系高校での専攻科の代表的な例です。

## Q2. どんな勉強をするのですか？

- A2. 多くの企業ではハイレベルな製造技術者を求めています。それらに対応できるよう、高校で身につけた技能・学習内容に加えて更に高度な資格・技術を得るための勉強をします。また、長期の企業実習を行うことにより、企業で即戦力となる能力を養うことができます。

## Q3. どんな人が入れるのですか？

- A3. 他県の例では工業系高校(総合学科における工業系列を含みます。)を卒業した方が入学しています。

## Q4. 専攻科を修了するとどうなるのですか？

- A4. 他県では、地元の企業に就職する機会が多いようです。企業と協定を結び、県内企業への就職率100%を達成しているところもあります。さらに、給料等を短大卒の人と同じようにしてもらっているところが多いです。  
また、大学に編入学することもできるようになりました。

## Q5. 学生生活について教えてください。

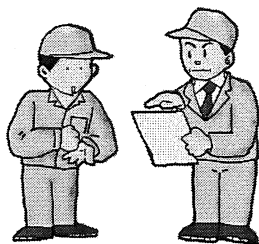
- A5. 専攻科での学習は密度が濃く、通常2年間の在学期間中に長期の企業実習やテーマを決めた研究などに取り組むこととなります。また、修学旅行、球技大会などのレクリエーションも用意されているところがあります。

## Q6. 学費について教えてください。

- A6. 一般的には、大学や専門学校よりも授業料が安いので、勉強に要する経済的負担は軽いです。

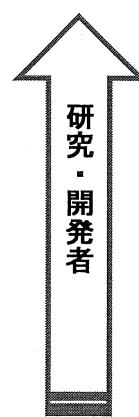
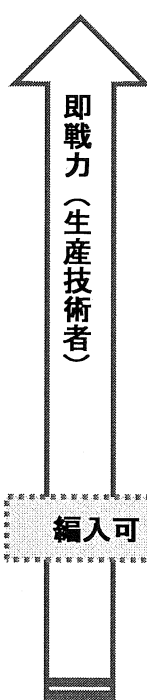
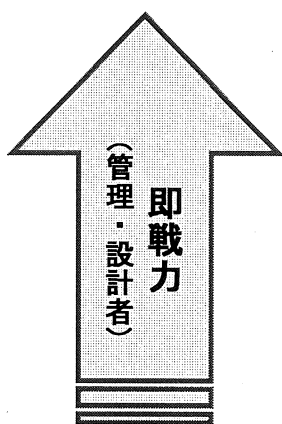
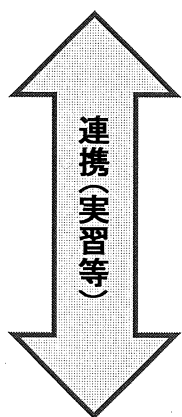
～ 裏面にイメージ図があります。～

# 専攻科と中学校の関係、専攻科卒業後のイメージ



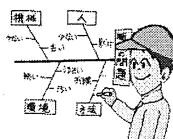
- ・ 製造技術者の中でも、職場のリーダー的存在
- ・ 技能と技術を併せ持ち、主に工程設計（生産性の検討・生産準備・設備設計）等を担う

## 地元企業（地域産業を支える技能者・技術者）



五年間の工業教育

### 専攻科（2年）



- ・ 工業の応用学習
- ・ 企業ニーズに沿ったカリキュラム編成
- ・ 高度な資格取得

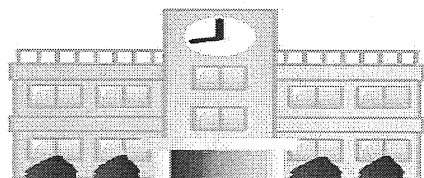
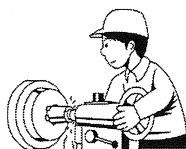
編入可

### 4年制大学（研究・開発）



### 工業高校（3年）

- ・ 一般普通科目
- ・ 工業の基礎学習



中学校

～ 裏面に Q&A があります。～

|     |       |        |          |
|-----|-------|--------|----------|
| 学校名 | 学校コード | 学科・系列名 | 学科・系列コード |
|     |       |        |          |

## 工業系高校学校専攻科に関するアンケート調査

山梨県では、機械・電子を中心とした基幹産業の発展に向けて、産業界が必要とする人材の育成・供給を強化するため、工業高等学校への新たな課程の設置、企業との連携強化など考えられる方法について検討しております。このアンケートは、今後の施策の参考にさせていただくために行うものです。それ以外の目的に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケートへの回答にご協力くださいますようお願いいたします。なお、設問にある専攻科、デュアルシステム等用語の意味については、別紙をご覧ください。

山梨県教育委員会（教育庁 新しい学校づくり推進室）

回答は設問ごとに当てはまる番号を選んで、各設問の右端にある□欄に記入してください。また、選択した内容に( )がある場合は、( )内への記入もお願いします。

- 回答者  
 1 生徒      2 保護者 □

- 性別（回答者が保護者の場合は、子弟の性別）  
 1 男      2 女 □

- 問1 （全ての方にお尋ねします。）  
 将来、工業系の分野に進学や就職をしたい（させたい）と考えていますか？
- 1 進学や就職を考えている (→ 問2へ)  
 2 興味はある (→ 問2へ)  
 3 興味はない (→ 問3へ)  
 4 わからない（まだ決めていない） (→ 問3へ) □

- 問2 （問1で「1 進学や就職を考えている」または「2 興味はある」と回答した方にお尋ねします。）  
 (1) その理由を教えてください。（次の中から2つ以内で選んでください）
- 1 工業系で学んだ知識・技能が活かせる  
 2 製造・加工・組立などのモノづくりに興味や適性があると考えている  
 3 就職したい企業・職種がある      4 保護者・教員など周りの人が勧めている  
 5 周りの人が工業系に進学・就職している  
 6 その他 ( ) □ □

- (2) 将来は工業系の企業に就職したいと考えている場合、どのような職種に就きたいと思いますか？  
 （次の中から2つ以内で選んでください）
- 1 製造・建設等の現場でのモノづくり、工事、機械整備等  
 2 製造管理（製造現場と関連するいろいろな部署を結びつけ、技術的なアドバイスなどを行う）  
 3 製造現場での工程設計（生産性の検討、生産準備、設備設計等）  
 4 製品の企画・設計  
 5 研究・開発  
 6 わからない  
 7 その他 ( ) □ □

- 問3 （問1で「3 興味はない」または「4 わからない（まだ決めていない）」と回答した方にお尋ねします。）  
 その理由を教えてください。（次の中から2つ以内で選んでください）
- 1 数学・理科が好きではない（不得意である）      2 自分（あなたの子ども）の適性がわからない  
 3 進みたい進路に関する情報が不足している      4 工業系の分野に関心が無くなった  
 5 工業系以外の職種に就職したい（させたい）      6 まだ決められない  
 7 その他 ( ) □ □

問4 (全ての方にお尋ねします。)

あなた(あなたの子ども)が高校を卒業する際に、どのような進路を考えていますか?

- 1 4年制大学に進学
- 2 短期大学に進学
- 3 専修学校・各種学校等に進学
- 4 産業技術短期大学校に進学
- 5 就職
- 6 まだ決めていない
- 7 その他 ( )

問5 (全ての方にお尋ねします。)

高校の専攻科について以前から知っていましたか?

- 1 よく知っていた
- 2 まあまあ知っていた
- 3 あまり知らなかった
- 4 全く知らなかった

問6 (全ての方にお尋ねします。)

別紙の資料を読んで、専攻科があった場合、高校卒業後の選択肢としてどのような感想を持ちましたか? (県内に工業系の専攻科があると仮定してお答えください。)

- 1 第一希望として進学したい(させたい) (→ 問7へ)
- 2 選択肢の一つとして考えたい (→ 問7へ)
- 3 選択肢としては考えない (→ 問8へ)
- 4 わからない (→ 問8へ)

問7 (問6で「1 第一希望として進学したい(させたい)」または「2 選択肢の一つとして考えたい」と回答した方にお尋ねします。)

(1) 選択した理由は何ですか? (次の中から2つ以内で選んでください)

- 1 高度な専門的知識、技術を身に付けることができる
- 2 就職率が高い
- 3 高卒よりも企業での待遇が良い
- 4 他の進学方法に比べて学費が安く、経済的負担が少ない
- 5 大学への編入学の途が開かれている
- 6 その他 ( )

(2) 専攻科に特に期待する事項は何ですか? (次の中から2つ以内で選んでください)

- 1 資格の取得
- 2 専門的知識・技術の習得
- 3 学費など経済的な負担の軽減
- 4 大学等への進学を意識した学習
- 5 インターンシップ、デュアルシステムを通じた社会人としての実践的能力の獲得
- 6 企業との連携による高い就職率や高卒以上の待遇
- 7 その他 ( )

問8 (問6で「3 選択肢としては考えない」または「4 わからない」と回答した方にお尋ねします。)

選択肢として考えない、あるいはわからない理由は何ですか? (次の中から2つ以内で選んでください)

- 1 高校を卒業したら進学は考えておらず、就職したい(させたい)
- 2 大学に進学したい(させたい)
- 3 短大や専門学校に進学したい(させたい)
- 4 専攻科で身に付く知識・技術のレベルが不明確である
- 5 その他 ( )

ご協力ありがとうございました。



# 工業高校の専攻科(全日制)についてご説明します

(高)

高校の専攻科について、以下のようにQ&A方式により説明します。

## Q1. 高校の専攻科とは、どんなところですか？

- A1. 高校を卒業後、専門分野を更に深め、資格取得や高度な知識・技能を身につけるため、さらに2年間学ぶための学科です。本県の高校には全日制の専攻科は現在のところありません。専攻科については、各高校がそれぞれの教育理念によりカリキュラムを工夫して運営しており、その内容は各校で異なります。以下でご紹介するのは工業系高校での専攻科の代表的な例です。

## Q2. どんな勉強をするのですか？

- A2. 多くの企業では工程設計や品質管理等を行うことができるハイレベルな製造技術者を求めています。それらに対応できるよう、高校で培った技能・学習内容に加えて更に高度な資格・技術を得るための勉強をします。また、デュアルシステム(Q3参照)による長期のインターンシップを行うことにより、企業で即戦力となる能力を養うことができます。

## Q3. デュアルシステムとは何ですか？

- A3. 企業における実習訓練と専攻科における授業(企業における実習訓練に関連した内容)を並行的に実施します。他県の例では、1年生は3社で各10日間のインターンシップを、2年生は原則として1年生のときに選択した企業の中から1社で2か月間通して実地訓練を受けながら、専攻科の教員による指導も受けるという形で学習しています。

## Q4. どんな人が入れるのですか？

- A4. 他県の例では工業系高校(総合学科における工業系列を含みます。)を卒業した方が入学しています。

## Q5. 専攻科を修了するとどうなるのですか？

- A5. 他県では、地元の企業に就職する機会が多いようです。企業と協定を結び、県内企業への就職率100%を達成しているところもあります。さらに、企業と協定を結ぶなどして、短大卒と同等の待遇とされているところが多いです。  
また、平成27年6月に法律が改正され、一定の基準を満たす専攻科の修了生は、大学に編入学することができることとされ、専攻科で学んだ知識・技能を活かしてより高度な教育を受ける可能性が広がっています。

## Q6. 学生生活について教えてください。

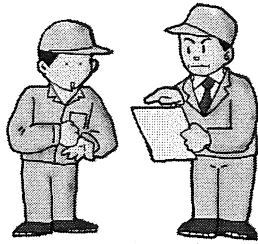
- A6. 専攻科での学習は密度が濃く、通常2年間の在学期間中に長期のインターンシップや卒業研究にも取り組むこととなります。また、修学旅行、球技大会などのレクリエーションも用意されているところがあります。

## Q7. 学費について教えてください。

- A7. 一般的には、大学や専門学校よりも授業料が安いので、勉強に要する経済的負担は軽いです。

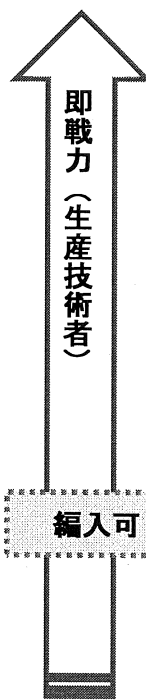
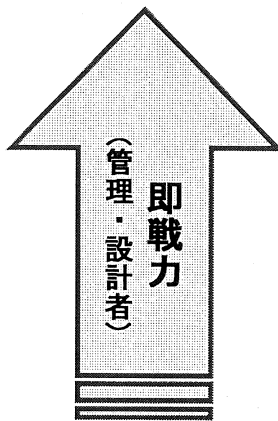
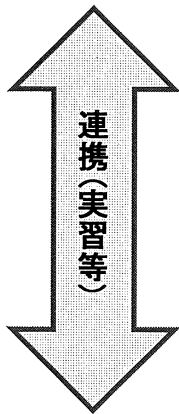
～ 裏面にイメージ図があります。～

# 専攻科と中学校の関係、専攻科卒業後のイメージ



- ・ 製造技術者の中でも、職場のリーダー的存在
- ・ 技能と技術を併せ持ち、主に工程設計（生産性の検討・生産準備・設備設計）等を担う

## 地元企業（地域産業を支える技能者・技術者）



**専攻科（2年）**

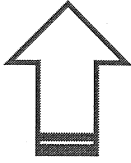
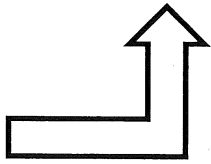
- ・ 工業の応用学習
- ・ 企業ニーズに沿ったカリキュラム編成
- ・ 高度な資格取得

編入可

**4年制大学（研究・開発）**

**工業高校（3年）**

- ・ 一般普通科目
- ・ 工業の基礎学習



## 中学校

五年間の工業教育